

(35) 春日神社（西山）(かすがじんじゃ)

住所：三重県伊賀市西山2265

TEL: 0595-23-4364

参拝日：2015年2月4日

【村社】

主祭神：天兒屋根命

祭 神：應神天皇、木之久々能智命、名山主真劍荒魂、息長足姫命、少毘古那命、

倉稻魂命、熊野八莊司之後裔木村長佐三左衛門、建速須佐之男命、大山祇命、
木花咲夜比女命、速玉之男命、撞賢木巖之御魂天疎向津媛命



鳥居



鳥居



拝殿

三交西山バス停を降りると村社春日神社の石柱と石の鳥居が見える。階段を登り長い参道を歩くと石灯籠と二つ目の石の鳥居があるが大部老朽化しており、頭上注意の看板があった。石灯籠の並んだ参道をさらに進み、左手に溜め池をしながら、石段を登ると大きな社殿がある。社殿の背後に境内があり、案内板を読んだ後、手水舎で手を洗い、さらに、石段を登ると阿吽の狛犬に護られて妻入造の拝殿と左右に社が控えている。本殿は春日造で、青銅葺きの屋根に外削の千木と鰹木が3本乗せてある。御神木のヒノキの巨木を始め境内社叢にはスギ、ヤブニッケイ、ツガの大木やヤブツバキ、アカガシ、モミノキ、モミノキ、イチイガシ、モウソウチク、サザンカ、ツツジなどがみられる。

祭祀は例祭が4月5日、その他年中恒例祭儀が7回行われている。

西山春日神社由緒（境内案内板）

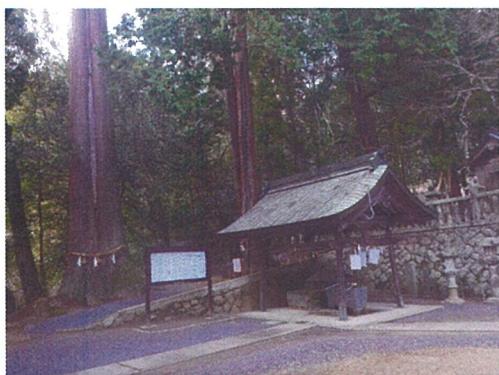
主祭神 天兒屋根命

例 祭 4月5日

春日大明神縁起〔奈良春日大社社誌〕によれば、三笠山に御鎮座の春日四所大神に平安末期の久安3年（1147）正月7日西山庄より南部春日社の節句祭に御神供を備進、久安5年（1149）2月申日西山郷字赤衛谷を谷処と定め春日第三殿の天兒屋根命を勧請とある。鎌倉初期の文暦元年（1234）社殿焼失文和2年（1353）4月社殿再興、室町時代の弘治3年（1557）赤衛谷より現在地に移転鎮座される。現在の本殿は江戸中期の延享2年（1754）造営に関わるものである。当社は古く平安時代から春日大社の四節供祭の御神供料所であったので以来長く明治維新まで続けられた。大正12年神供料復興の意味で太平洋戦争まで玄米一



本殿



御神木と手水舎

恶心を悔い善い帰りたいと願う荒魂と共に盜神をまつり社の称号を木生と号した。社を斎したが祭礼が行われなかつたので村民が多く煩った。これが神の祟りと又社の東北坂を通る馬も多く煩うをもつて東向なる祠を南に向けて弘治二年(1556)より始めし祭り(ナスピ祭)を今尚執り続けている。

由緒：(三重県神社誌)

当社の創祀は、社傳の縁起によれば長暦3年(1039)正月春日大社に神戸より四節供のお供えを進め、其の後久安3年(1147)には伊賀国阿拝郡西山郷より御神供を進めるに至った。同五年西山郷に勧請奉祀せよとの春日大明神の靈験に依り、字神路谷又は神明谷と称する処に勧請し、産土神として斎き祀つたと伝えている。当社棟札等から文暦元年(1234)社殿焼失の後文和2年(1353)造営再興した。文龜3年(1503)社頭を拡張したが、弘治三年(1557)木生山麓に移転した。現在の社殿は、延享2年(1745)に造営された建物である。江戸時代を通じ近郊の産土神として多くの崇敬者を集めた。明治40年(1907)には西山村字中出鎮座、無格社津島神社、同無格社八幡神社、字西出鎮座、無格社石神社、字坂ノ尻鎮座、無格社栗島神社、字広出鎮座無格社山神社、字深山鎮座、無格社木生神社をそれぞれ合祀した。

特記事項：伊賀の西北高旗山(710)中に木尾権現が祀られていた。10月14日夜より始めて15日朝に至る、俗に茄子祭りと呼ばれている座の祭祀が伝えられている。頭屋が座頭となって一昼夜かけて餅をつき茄子をゆでて神前に供える。その作法は古く室町頃からと伝えられ伊賀奇祭の一つである。

俵を奉納してきましたが、戦後中断平成4年に復活して現在に至っています。

明治40年10月

木生神社 [木之久々能智神・名山主眞剣荒魂]

八幡神社 [応神天皇] 石神社 [息長足姫命]

栗島神社 [少毘古那命・倉稻魂命]

佐三神社 [熊野八荘司之後裔木村長佐三左衛]

津島神社 [建速須佐之男命]

浅間神社 [木花咲夜比女命]

神明神社 [撞賢木巖之御魂天疎向津媛命]

山神社 [大山祇命] 熊野神社 [速玉之男命]

は春日神社に合祀される。

明治4年村社に制定され大正3年神饌幣帛料供進社に選定され今日に至る。

木生神社 [木尾権現]

宣化天皇の御代(535~539)に大山の頂を宮処と定め木之久々能智命・名山主眞剣荒魂の二柱を祭神とし又神の使は狼であると云うも由緒不詳なり。

[三国地誌 西山考証]

西山村字魔館谷は真剣の頸を墮した処(首墮瀧)で、その多くの神靈は魔となって人々を悩ましたるに、その地を魔谷と云う、その魍魎は多くの村民を煩わしたので山獄の頂きに真剣の靈を祭り神